



フィグ・ヤーパン通信

第15号

FIGU-JAPAN BERICHT, Nr.15

発行日 2003年7月1日

発行 フィグ・ヤーパン <http://jp.figu.org/>

講演会開催のお知らせ

来る9月21日(日)に、FIGUスイスの基幹メンバーを招いて、講演会を開催する予定です。FIGUスイスの基幹メンバーは、主にスイスやドイツで講演会を催しており、日本においてはギドー・モースブルッガー氏が1998年に来日して講演を行いました。今回の講演会は、その時以来5年ぶり2回目となります。

この度、日本を訪問するのは、FIGUスイスの基幹メンバーとして長年にわたり活動し、FIGUスイスのホームページ管理責任者として世界中の読者に知られているシュテファン・リッカウアー (Stephan Rickauer) 氏です。その他にもう1名の基幹メンバーが訪日する予定ですが、現時点では未定です。リッカウアー氏ら、FIGUスイスの基幹メンバーのことは、ホームページやFIGUスイスの機関誌『Stimme der Wassermannzeit (水瓶座時代の声)』において、その名前を見ることができます。フィグ・ヤーパンでは、リッカウアー氏と相談の上、日本の読者にとっても関心が高く、興味を呼び起こすようなテーマを選定し、講演会を催す予定です。

日頃FIGUスイスのメンバーと顔を合わせたり話を聞くことも少ない私たち日本の読者にとって、今回の講演会はまたとない機会になることでしょう。また、この講演会が、日本の読者の皆様にとって、日頃のご親交を深める機会としていただければ幸いです。



シュテファン・リッカウアー氏
(FIGUスイスホームページより)

□ 講演会の予定 □

講演会は以下の日程で開催する予定ですが、新型肺炎 SARS の状況次第で延期になる可能性がありますのでご了承ください。

日付	平成15年9月21日(日)
場所	日本青年館ホテル(東京都新宿区)
時間	午後1時～午後4時
参加費	3000円

参加のお申し込みは、同封の葉書をご投函いただくか、氏名・連絡先住所をご記入の上、講演会参加希望と明記して、フィグ・ヤーパンに直接FAX(0426-37-1524)にてご連絡ください。後日、講演内容も含めた詳しい案内をお送りいたします。

新刊 『男と女に対する言葉』



ドイツ語原文対訳
A6判
44ページ

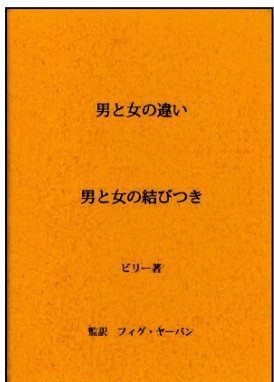
この作品でビリーは、男と女の真の性質についてわかりやすく解説しています。ビリーの説明によると、男女の性質と後に発揮される本質は、すでに胎内にいる時から始まっているということです。本書は、異性に対する誤った解釈を正し、異性を正しく理解するための入門書となっています。

A6判ドイツ語原文対訳でご覧いただける小冊子として発行しています。

『男と女に対する言葉』

こと創造に関する限り、あるいは創造の頂点ということに関しては、いやが上にも男は常に前面に押し分けて進み、すべてのものを、女をも押しつける。実際、幾ばくかの人間は男が創造の主であり、したがって女性より優位に立ち、これを支配しなければならないと信じている。少なくとも誤った信仰を抱いている男の世界ではそうである。かつてアルベルトゥス・マグヌスとその同類が信じたように。それによると女は価値の低い被造物であり、愚かで、非自立的で、単純であるという。そしてそのことは、女がその他の不名誉な事柄と並んであまりに非論理的であって、男の助けなしに単独では日常の困難、彼女たちの仕事、その課題および生活をそもそも成し遂げられないということに表われているという。……

新刊 『男と女の違い 男と女の結びつき』



ドイツ語原文対訳
A6判
20ページ

この作品は、「男と女の違い」と「男と女の結びつき」の2章から構成されています。男女は、脳の解剖学的な違いからも知覚、思考、感情および行為の形態が異なっていることや、男女間の結びつきこそが人類の進歩と存続を保証するものであることが、わかりやすい言葉で述べられています。

A6判ドイツ語原文対訳でご覧いただける小冊子として発行しています。

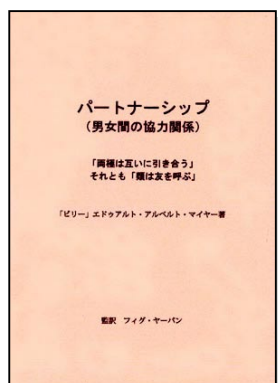
『男と女の違い』

男と女の間には極めて重大な違いがある。その違いはすでに脳において始まり、恋愛生活に至るまで感情的および性的な形態で連なっている。しかし脳こそは、人間の体で最も神秘的な器官であり、それは世界中および宇宙のあらゆる種類の、人間以外の生命形態を含むすべての生命形態について見ても言える。……

『男と女の結びつき』

男と女および両者の関係にとって、互いに無関心であることは許されない。というのも、男と女の結びつきが人類の進歩と存続を保証するからである。両者は互いに避け合い、単独で自分の道を行くこともできよう。しかし両者が感情を抱いて交際を始めた瞬間に、互いに尊敬を払うという義務も生じるのであり、またこの義務を果たさなければならなくなるのである。……

新刊 『パートナーシップ (男女間の協力関係)』



ドイツ語原文対訳
A5判
16ページ

本書は、フィグヤーパン通信第13号、第14号で連載した「パートナーシップ (男女間の協力関係)」を合わせて出版したものです。結婚や恋愛、友情などの男女間の関係において、知っておくべき男女の法則がわかりやすく解説されています。

A5判ドイツ語原文対訳でご覧いただける小冊子として発行しています。

Q&A 質問と回答

□読者の質問

新生霊はどのように作られ、もしくは生み出されるのですか。

バルバラ・ロッツ (ドイツ)

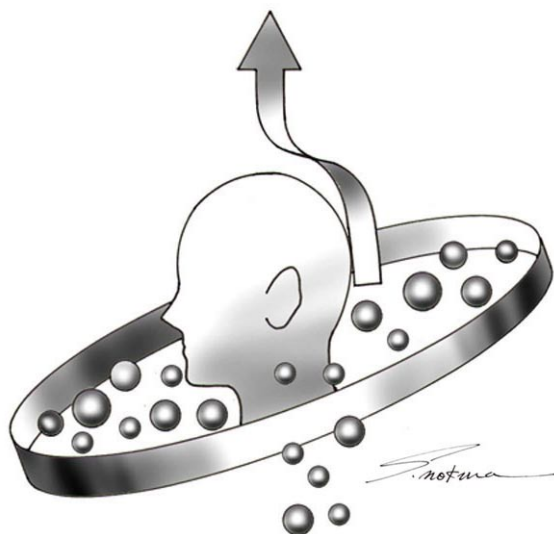
□ピリーの回答

いわゆる新生霊とは、絶対中性的な形態における純粋な創造の霊的エネルギーであり、最初に人間の肉体に転生してこれに命を与えるが、まだ完全に未経験で、自分自身について、人間の物質的意識によって身につけた知識、そして最後にそこから生じる知恵について絶対的に無知、無分別である。内容的にはこの中性的な新生霊体にはすべての創造的なもののみ、すなわち真の創造的愛、創造的エネルギーの力、知識およびすべての創造の法則と掟のパルスが与えられている。

そもそも新生霊体がそのような名前と呼ばれるのは、それが実際に初めて人間の体に入るか、もしくは

はそうした体の中に生まれて後のことである。新生霊体はその原初形態においては、宇宙もしくは創造、宇宙意識の創造力により宇宙の物質帯域が作り出されるときに無数に創出された。これらの中性的エネルギー形態は物質帯域の全領域に広がって、天体や惑星などに定着するが、広大な宇宙空間をさまようものも無数にある。これらのエネルギー形態は至る所で個々に新生霊体として人間の体内に進入し、その上丘(1対の節点-中脳蓋)に定着する。ここではそうした中性的でまだ無知の新しい霊体を必要としている。この霊体は愛において非常に多くの輪廻、すなわち転生を経て進化しながら発達し、知識、能力および知恵を集め、その創造に基づく真の愛を拡大し、これらすべての価値とともにそのエネルギーを蓄え、それによってますます強力になっていく。この場合、人間の物質的意識もしくは人格も極めて重要な役割を果たす。なぜならば、何よりもこの要因によって知識および知恵が形成され、その積極的な成果が霊体に転移されて、これにより登録および受容されて、愛、知識、知恵および強力なエネルギーという新たな成果へと加工されるからである。つまり、霊体は進化し、ますます強力に、エネルギー豊かに、賢く、そして聡明になっていくのである。

(『FIGU公報第41号』より抜粋)



ビリー・マイヤーへのインタビュー

— ミッションに関すること —

あなたと地球外知的生命とのコンタクトは、いつ、どのように始まったのですか。(それは今後どのくらい続くのですか。)

地球外に住む人間とのコンタクトは、1940年代、私がまだ小さい子供のときに始まりました。最初の会見相手はスファートという名前の老人で、彼は私が住んでいたビューラッハ村の方言、つまりむきだしのスイス訛りのドイツ語を話しました。

すべては、きれいに晴れたある夏の日の朝に始まったのです。私は家の裏手にある大きなクルミの木のわきに父と並んで立っていました。突然私は自分の中にある衝動を感じて、通称エッセンモーゼル山の方を振り向きました。そしてその先の紺碧の空に銀色の閃光を見たのです。その閃光は教会の塔に向かって突き進みました。

それはほんの一瞬のことでした。それから我々の頭上を越えて、およそ5キロメートル離れた森の上空に消えました。そのときそれは巨大な丸い金属製の円盤であることがわかりました。父にあれは何だったのかと尋ねると、あれはきっとヒトラーの最新の秘密兵器に違いないという答えがかえってきました。私はそれを信じることはできませんでした。それからというもの、私はいつも空を観察しました。そして夜になると「走る星」を見ました。それは天空高く進みましたが、飛行機ではありませんでした。

ある日、私は自分の中に衝撃を感じ、声のようなものが聞こえてきました。それ以来、その声は私と会話するようになりましたが、ついにある日、それはヘラーゲン森にあるランゲンツィンゲンに行き、洋梨の形をした飛行物体が私を訪ねてくるから待機するよう指図しました。そこで私はその呼びかけに従い、言われた場所に出かけて行きました。到着してからまもなく、洋梨形をした銀色の飛行装置が降りてきて着陸しました。その中からひどく年老いた男が降りてきて、私に優しく話しかけました。そして、自分はスファートであると名乗り、別の惑星から来たこと、私と多くのことについて語り、また私にたくさんのお話を教えるなどと語りました。それが私

が地球外の人間と持った最初のコンタクトでした。

それ以来、スファートとは数多く会いました。それが1953年に終了すると、今度はアスケットという名前の女性が引き継ぎ、1964年まで続けました。スファートはプレアデス/プレヤール星の出身でしたが、アスケットはDAL宇宙から来ました。DAL宇宙は我々の銀河系宇宙の姉妹宇宙、つまり双子宇宙です。1975年までコンタクトが途絶えましたが、1975年1月28日に再開されました。相手はプレアデス/プレヤール系のエラという惑星から来た女性でしたが、この星は我々が知っているプレアデス星団とは関係ありません。新しい会見相手の名前はセミヤーゼで、彼女とのコンタクトは1980年代初めまで続けました。彼女のほかにも妹のプレヤ、父親のプター、それに司令官のクウェツァルがいました。その後、タリーダとメナラという名前の女性らが続けました。

公式会見は1995年2月3日の早朝に終わりました。しかしそれはコンタクトが最終的に中断されたことを意味するものではなく、プレアデス/プレヤール人が地球での使命を果たしたために、公式会見を行う必要がなくなっただけです。公式ではない人間同士の個人的なコンタクトは、私がこの世を去るときまで続けられるでしょう。しかし1995年2月3日までのようにそれほど頻繁ではなくなるでしょう。ときには会見内容を記録したり、情報を提供したりすることも可能でしょう。

宇宙に存在する人種についておおよその概要を教えてくださいませんか。

創造によって最初に40353607種類の純粋な人種が造られましたが、それらは自然の進化により全宇宙において多くの銀河系内の多数の太陽系に属する数多くの惑星で生まれ、そして自然および生物の進化により惑星全体が発展する過程で発達しました。このような生成過程の最初に、特定のアミノ酸およびアミノ酸化合物により惑星固有の植物相が生まれました。生成と消滅という自然の過程により、もう一つの自然の偶然、すなわち原因と結果の意義ある出会いが生まれました。そこから新しいアミ

ノ酸化合物が生まれ、動物相、すなわち動物界が発達したのです。植物相には最初は地衣類などの植物しか存在しませんでした。進化の結果、植物を食べる動物や、互いを栄養として食する動物も登場しました。これらの動物も生成と滅亡の過程に組み込まれていて、物質を堆積させたり、死亡したりしました。それがまた新しい生物化学的プロセスを誘発して、そこから再び新しいアミノ酸化合物、そして新しい生命形態が発生したのです。この生命形態こそ人間であり、多くの人種、すなわち前述のように40353607種類に分かれ、そのうえ合計343種類の肌の色を持っていました。さらにこれらすべての人種は、それぞれ生まれた世界の生存条件や大気などに応じて種類は互いに大きく異なりましたが、まぎれもなく人間という類に属していました。こうして不格好な人間や、矮小な人間、巨大に成長した人間などの生命形態、つまり小人、巨人、ギガンテス、ティタンなどが生まれたのです。なかには小人症の人間もいました。それらは同じ人種のなかでも、遺伝的な欠陥が原因で正常な大きさに完全に達しなかったものです。小人症の人種は小人属とは関係ありませんでした。というのは小人はれっきとした人種であり、今日に至るまで存続しています。地球には小人症の人間も存在しますが、残念なことに『ガリバー旅行記』の架空の話に従って「リリパット人」という蔑称で呼ばれています。

地球にはさまざまな大きさの人間がおり、それらはいろいろな人種に属しています。たとえば小さいピグミー族がそうです。最も多いのが正常な大きさの人間、それから地球人の中での巨人、たとえばワトゥーシ族やマサイ族の成員がいます。

あなたがコンタクトしている地球外知的生命はどこから来るのですか。また、なぜこの地球に住む人間を訪問するのでしょうか。

私がコンタクトしている地球外知的生命は、プレアデス／プレヤール星座から来ます。しかしこの星座は、我々の時空構造で地球から約420光年の距離に見えるプレアデス星団と同じものではありません。こちらの方は年齢約6200万年にすぎず、青み

を帯びた高温の太陽として、いかなる形においても、つまり霊的な形においても、物質的な形においても生命を宿すことは絶対にできません。地球外知的生命のプレアデス／プレヤール星は別の時空構造、すなわち我々のものとは1秒の数分の1ずれた時空構造に存在しています。この時空構造は、我々に見えるプレアデス星団の近くに人工的に造られる次元の門を通して突破できます。そこから地球外知的生命が彼らの故郷と呼んでいるプレヤール星の星座までさらに約80光年離れています。しかしこれは、我々が我々の言語でプレアデス星団と呼んでいるものにほかなりません。いまから5万年ちょっと前、地球外知的生命がプレヤール星とその惑星を発見して入植したとき、彼らはこの星を、プレアデス星団にちなんで彼らの言語でプレヤール星と呼んだのです。この星は、地球の我々が知っているプレアデス星団のちょうど向こう側にあるというのがその理由でした。

プレアデス／プレヤール人が我々地球人を訪問するのは、最初にリラ・ヴェガ系から地球にやってきたグループに属する地球人と何らかの接触を持つためです。このリラ・ヴェガ系も我々が知っている時空構造からずれています。この原リラ・ヴェガ星人は最も初期のころ、地球に住む人間たちの間に災いを引き起こし、その結果、霊の教えおよび人間の創造に相応しい生き方が失われたのです。しかしこれにはリラ・ヴェガ星人とは関係のない別の要因もありました。別の地球外知的生命が人間に遺伝子操作を行ったのです。それらの人間はやがて地球にやってきて、他の人間と交わり、遺伝を繰り返すことによって地球上の全人類が混合しました。こうして発生した障害と誤操作を取り除くために、プレアデス／プレヤール人は、地球人に必要な教えと情報を伝えて、自分たちの直接の先祖が与えた害だけでなく、他の知的生命体をもたらした害も除くのが義務であると感じているのです。

過去と現在、コンタクトが具体的にどのように行われるのか教えてくださいませんか。

最初の頃はコンタクトするために、モペットに乗

ってしばしば数キロメートルも離れた土地に行き、このうえなく寂しい場所や、人里離れた林間の空き地にテレパシーによって導かれました。たいていビームシップはすでに着陸して私を待っているか、あるいは数分後に現れました。ときには会見が始まるまでに数時間かかることもありましたが。というのは、ひっきりなしに人が行き来したり、昼夜となく誰かが私の後を追ったりしたからです。

ときどき別の人間を伴うことが許されました。彼らは少なくとも会見場所から 500 メートル離れたところで待っていなければなりませんでしたが、その代わりビームシップが飛来し、また飛び去るのを見たり、さらには飛行術やエネルギー燃焼のデモンストレーションも見ることができました。

後にセミナー・シルバー・スター・センターに住むようになってからは、コンタクトのために森の中に呼び出されることは稀になり、たいていは簡単にビームシップに持ち上げられました。ときにはグループの人々の間から私を選んでビームシップに乗せることもありましたが、これについてはいろいろな人が証言することができます。グループの複数のメンバーと一緒にビームシップやデモンストレーションを見たり、さまざまな機会に地球外知的生命そのものを見ることもありました。近年、具体的には 1982 年、私は非常に重度の虚脱状態に陥り、それが原因でひどく健康を損ねた後、なんとか努力して少しずつ回復していききましたが、1989 年までの数年間、私は生よりも死に近い状況にありました。その頃、プレアデス/プレヤール人は直接私を訪問しました。私のオフィスに訪ねてくるか、あるいは私がひとりでどこか屋外にいるときに、直接私のところへやってきたのです。

続く

(出典：FIGU スイス ホームページ)

フィグ・ヤーパンからのお知らせ

□ FIGU スイス一般会員総会で活動報告しました □

2003 年 5 月に開催された FIGU スイス一般会員総会において、フィグ・ヤーパンの活動報告を行いました。毎年行われる FIGU スイス一般会員総会に



一般会員総会会場の民宿フライホーフ

は、世界中から一般会員が集まってきます。これまで、フィグ・ヤーパンでは事前に活動報告書を送り、FIGU スイスのメンバーに代読をお願いしていました。この度、山野井と馬場の 2 名が直接参加し、ドイツ語の通訳者ケラーさんを介して報告を行いました。一般会員総会は、センターから至近の民宿フライホーフで開催されました。今回はスイスやドイツを中心に各国から約 70 名の会員が参加し、アジア地域からの参加は日本だけでした。

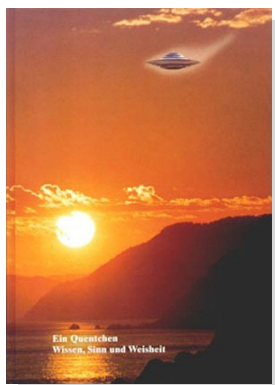
FIGU スイスの会長を務めるアンドレアス・シュビーガー氏から開会宣言が為され、式次第に従って議事が進行していきました。各国からの活動報告では、最初にフィグ・ヤーパンが報告を行い、通訳者と 3 人で壇上へ上がり、日本語である程度読み上げてから通訳をする形で無事報告を終えた後、盛大な拍手を頂きました。午後になってベルナデッテ・ブランド氏から、「フィグ・ヤーパンの報告はとても印象的で良く活動しているので、他のグループのモデルになるだろう」と賛辞の言葉をいただきました。さらにブランド氏から、フィグ・ヤーパンのミッションと通訳者に対してビリーから感謝の言葉があったことが紹介されると（ビリーは一般会員総会には直接出席していません）、会場はさらに大きな拍手に包まれました。拍手はすぐには終わりそうにもなかったもので、控えめに一同に会釈で応えざるを得なかった程です。直接の活動報告は初めての試みでしたが、たいへん印象深いものとなりました。日頃からフィグ・ヤーパンの活動にご協力いただいている読者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

□翻訳中の書籍□

日本で翻訳する書籍の順番は、FIGUスイスと協議しながら選定しています。現在フィグ・ヤーパンでは、2冊の書籍の翻訳を同時に進めています。

Ein Quentchen Wissen, Sinn und Weisheit

わずかばかりの知識、感覚、そして知恵 (仮題)



(A5判 274ページ)

この作品は、2000年に発刊された比較的新しい書籍です。ビリーはこの作品の中で、思いやりにあふれた言葉で、創造の道を一步一步進むことの大切さを説いています。

現在、2名の翻訳者による翻訳を完了し、フィグ・ヤーパンで最終校正中です。

Plejadisch-Plejarische Kontaktberichte

プレアデス/プレヤールのコンタクト記録 (仮題)



(A4判 508ページ)

この作品は、2002年に全面改定された、ビリーと地球外知的生命プレアデス/プレヤール人とのコンタクト記録の第1巻です。1975年1月28日から11月13日にかけて行われた、38回分の記録が収録されています。現在、2名の翻訳者によって、100ページ分の翻訳がほぼ完了しています。

なお、これらの書籍の出版形態について、自費出版や出版社からの出版等、様々な可能性を検討中です。現時点では自費出版となる予定ですが、読者の皆様で、これらの書籍を出版可能な出版社について有力な情報がありましたら、フィグ・ヤーパンまでお知らせいただければ幸いです。

フィグ・ヤーパンでは、これらの書籍を一日でも早く出版できるよう、日夜努力しておりますので、引き続きご支援をお願いしますとともに、どうぞご期待ください。

□『FIGU特別公報』の無償配布活動□

5月2日にブッシュ米大統領が戦闘終結宣言をしたものの、依然としてイラク戦争は継続しており、戦争は終結していません。今日でもなお、多くのイラク人が命を落としたり、非人間的で悲惨な状況に追い込まれ、一方でアメリカ兵の犠牲者も増え続けています。ところが、日本の小泉首相はアメリカの要請によって、イラクに自衛隊を派遣するための法案を国会に提出し、現在審議が行われています。

2003年1月1日にFIGUスイスが発刊した『FIGU特別公報』は、これまでに第7号まで発行されています(7月1日現在)。特別公報の発刊後、FIGUスイスには、世界中の読者から大きな反響が寄せられています。フィグ・ヤーパンでは、この問題の重要性を鑑み、主にビリーによる記事を抜粋することで迅速な翻訳出版を開始しました。これまでに第6号までの翻訳を完了し、第5号まで出版しています。日本語版の『FIGU特別公報』を出版することで、ブッシュ大統領を始めとしたアメリカの戦争扇動に日本が巻き込まれることを抑止し、日本が人間としてあるべき感覚を取り戻し、アメリカの誤った行動に同調するのを防ぐように呼びかけることができます。今後も引き続き『FIGU特別公報』の翻訳出版を継続して実施するために、読者の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

□ボランティア募集中□

現在10名の方にボランティアスタッフとしてご登録いただき、フィグ・ヤーパンと協力して様々なミッションを実施しています。ドイツ語の校正、印刷物の発送、パソコンの入力、講演会の準備、ビデオ・写真撮影、イラスト、ホームページ管理など、フィグ・ヤーパンのミッションは多岐にわたります。ボランティアをご希望の方は、電話、葉書、メール等で事務所まで、お気軽にご連絡ください。

□ご意見をお寄せください□

フィグ・ヤーパンの活動や出版物について、ご意見、ご質問、ご要望等ありましたら、お気軽に事務所までお寄せください。今後の活動の参考にさせていただきます。

出版物のご案内

■宇宙の深遠より 一地球外知的生命プレアデスとのコンタクト (徳間書店刊)

価格 2,940 円 (税込 送料別 550 グラム)
全国の書店でもお求めいただけます。

■フィグ・ヤーパン通信

価格 各 300 円 (税込)

1号 (送料別 45 グラム) 2号 (送料別 225 グラム)
3号 (送料別 55 グラム) 4号 (送料別 70 グラム)
5号 (送料別 65 グラム) 6号 (送料別 40 グラム)
7号 (送料別 60 グラム) 8号 (送料別 70 グラム)
9号 (送料別 55 グラム) 10号 (送料別 85 グラム)
フィグ・ヤーパン通信は 11 号以降無料となりました。

■日本語版 水瓶座時代の声

価格 各 1,000 円 (税込)

83/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)
83/2 号 (特集) (送料別 105 グラム)
87/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)
91/1 号 (特集) (送料別 135 グラム)

■第 235 回会見

価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)

■日本語版 FIGU 公報

6号 価格 500 円 (税込 送料別 90 グラム)
7号 価格 500 円 (税込 送料別 95 グラム)
29号 価格 500 円 (税込 送料別 155 グラム)
30号 価格 500 円 (税込 送料別 155 グラム)
38号 価格 500 円 (税込 送料別 160 グラム)

■精神と物質の生命

価格 500 円 (税込 送料別 55 グラム)

■男と女に対する言葉 **新刊!!**

価格 200 円 (税込 送料別 35 グラム)

■男と女の違い 男と女の結びつき **新刊!!**

価格 100 円 (税込 送料別 25 グラム)

■パートナーシップ **新刊!!**

価格 200 円 (税込 送料別 35 グラム)

■昨日、今日、明日の心配に関する考察

価格 100 円 (税込 送料別 15 グラム)

■生と死は互いに切り離しがたく結びついている

価格 100 円 (税込 送料別 25 グラム)

■あえて賢くあれ

価格 100 円 (税込 送料別 25 グラム)

■FIGUの原則あるいは人間の原則

価格 300 円 (税込 送料別 40 グラム)

■プレヤール人が地球人に望むこと

価格 200 円 (税込 送料別 30 グラム)

□ 書籍のご注文について □

すべての書籍のご注文は、郵便振替にて承っております。ご希望の書籍代金に送料を加えた金額を、お近くの郵便局から下記フィグ・ヤーパンの口座宛にお振込みください。なお、現金書留および切手封による直接のお申し込みはご遠慮ください。

□ 郵便料金表 □

50 グラムまで 120 円	500 グラムまで 310 円
75 グラムまで 140 円	750 グラムまで 340 円
100 グラムまで 160 円	1000 グラムまで 380 円
150 グラムまで 180 円	1500 グラムまで 450 円
200 グラムまで 210 円	2000 グラムまで 520 円
250 グラムまで 240 円	2500 グラムまで 590 円

□ 振込用紙の記入欄 □

口座番号：00160-4-655758

加入者名：FIGU-JAPAN

(アルファベットで記入して下さい)

金額：送料を含めた合計金額

払込人：あなたの住所、氏名、電話番号

通信欄：購入する書籍名と冊数

フィグ・ヤーパン通信 第 15 号 (無料)

発行日 2003 年 7 月 1 日

発行 フィグ・ヤーパン (FIGU-JAPAN)

住所 〒192-0916

東京都八王子市みなみ野 3-11-2-305

電話 0426 (35) 3741

FAX 0426 (37) 1524

URL <http://jp.figu.org/>

E-mail jp@figu.org

郵便振替 00160-4-655758

加入者名 FIGU-JAPAN

本書の全部または一部を無断で複写複製することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、フィグ・ヤーパンにご連絡ください。

Copyright (c) 2003 by FIGU-JAPAN. All rights reserved.